

# 「安房介護サービスネットワーク構築に係るアンケート結果報告」



1.目的…安房3市1町において介護保険サービス事業所及び調剤薬局等に対して、他機関及び多職種との連携に対する意識調査を実施し、進捗状況や課題把握を行うとともに、広域的な情報共有システムの必要性及び活用方法等について検討を行うためにアンケート調査を実施した。

2.関係団体との調整…アンケートを実施するにあたっては、安房3市1町で活動する関係団体等への説明を実施し、アンケートへの協力やシステム構築について周知を図った。

安房医師会/安房薬剤師会薬業会/安房しあわせネットワーク/安房地区栄養士会/館山市ケアマネジャー連絡協議会/館山市通所介護事業所協議会/館山市訪問介護事業所協議会/南房総市介護支援専門員連絡会/鋸南町介護サービス事業所協議会/鴨川市介護サービス事業所協議会

\*上記団体への説明を実施する中で、本事業を実施するにあたり医療介護連携を推進している安房医師会に協力を得ることができた。

3.実施方法…○実施期間 令和元年8月16日(金)～9月13日(金) \*9月8日以降は台風被害により回答はほぼなし。

○配布方法 メール及び郵送等にて各事業所宛に送付

○回答方法 web及び紙での回答 【約9割がweb回答】

○配布数及び回答率

事業所数	居宅 支援	訪問 介護	訪問 入浴	通所 介護	通所 リハ	訪問 看護	訪問 リハ	福祉 用具	短期 生活	短期 療養	地域密着								特別 養護	老人 保健 施設	療養 型	有料 ホーム	サ高 住	ケア ハウス	養護 老人	地域 包括	調剤 薬局	計
											通所 介護	認知 デイ	小多 機能	看多 機能	夜間 訪問 介護	GH	特別 養護	特定 施設										
館山市	25	17	1	8	7	6	5	6	4	5	16	5	2	1	1	7	-	1	5	4	2	7	2	-	1	3	32	173
鴨川市	16	14	-	6	4	7	1	3	3	1	6	1	-	1	-	4	1	-	3	1	4	3	2	1	1	2	14	99
南房総市	28	16	-	11	6	2	2	1	10	1	10	3	3	-	-	6	1	-	7	4	1	-	2	2	-	2	17	135
鋸南町	7	4	-	4	-	1	-	-	1	-	3	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	4	27
計	76	51	1	29	17	16	8	10	18	7	35	9	5	2	1	18	2	1	16	9	7	10	6	3	2	8	67	434

回答率	配布	回答数	回答率
館山市	173	73	42%
鴨川市	99	71	72%
南房総市	135	48	36%
鋸南町	27	16	59%
計	434	208	48%

4.アンケート実施報告

①介護職員等の従事者数（推計人数）

\*集計方法…各サービスの平均従業員数を算定し事業所数で乗じた推計値

	1事業所あたり（平均値）			事業所数	推計値		
	介護職数	医療職数	従業員数		介護職数	医療職数	従業員数
訪問介護	11	0	12	51	561	0	612
通所介護	7	2	12	35	203	50	348
通所リハビリ	8	5	18	17	136	85	306
訪問リハビリ	4	5	12	8	24	40	76
訪問看護	1	6	7	16	16	96	112
福祉用具	4	1	14	10	40	10	140
短期入所生活介護	6	1	12	18	108	18	216
地域密着通所介護	8	2	14	29	280	70	490
認知症対応通所介護	7	2	10	9	63	18	90
小規模多機能	12	3	19	7	84	21	133
老人福祉施設	25	3	37	16	400	48	592
老人保健施設	53	17	96	9	477	153	864
介護療養型医療施設	23	40	95	7	207	280	665
グループホーム	13	0	16	18	234	0	288
有料老人ホーム	5	0	15	10	50	0	150
高齢者専用賃貸住宅	8	0	14	6	48	0	84
ケアハウス	4	0	7	3	12	0	21
養護老人ホーム	12	0	21	2	16	2	48
居宅介護支援	3			84	252		
計	-	-	-	355	2959	891	5487

考察…安房地域における介護サービス事業所従事者数を推計したところ5,000人以上となった。在宅サービス事業所では従業員が20名未満で介護職や医療職が大半を占めており、介護サービスを提供しながら運営全般の業務をこなしている状況である。また、医療系の入所系施設においては、医療職及び介護職としての人数確保が必要であるため従業員数が多い傾向にある。安房人口のうち20～60歳人口が60,000人程度となるため、12人に1人程度が介護サービス事業所に従事していることとなる。

②外国人介護職員の受入ニーズ

安房	受入れは考えていない	51%
	受入れを考えている	19%
	すでに受入れをしている	3%
	分からない	25%
館山	受入れは考えていない	55%
	受入れを考えている	16%
	すでに受入れをしている	0%
	分からない	29%
鴨川	受入れは考えていない	53%
	受入れを考えている	15%
	すでに受入れをしている	7%
	分からない	25%
南房総	受入れは考えていない	39%
	受入れを考えている	34%
	すでに受入れをしている	2%
	分からない	24%
鋸南町	受入れは考えていない	73%
	受入れを考えている	7%
	すでに受入れをしている	0%
	分からない	20%

安房 (入所)	受入れは考えていない	19%
	受入れを考えている	39%
	すでに受入れをしている	13%
	分からない	29%

安房 (在宅)	受入れは考えていない	49%
	受入れを考えている	18%
	すでに受入れをしている	4%
	分からない	29%

考察…外国人介護職員の受入については全体では受入に消極的である傾向がみられた。しかし、サービスによる違いを集計したところ、入所系及び在宅系において大きな違いが見られた。入所系では他職員の指導のもとに従事することが可能であるが、在宅系でも訪問系サービス（訪問介護など）は1人でサービス提供することとなるため消極的であると推測される。

③他機関との連携に対する意識調査

		病院	歯科医院	調剤薬局	訪問看護	訪問介護	通所	通所リハ	訪問リハ	福祉用具	居宅介護	地域包括	特養	老健	療養	GH	有料他	行政
安房	十分に連携が取れている	18%	9%	15%	15%	20%	13%	13%	13%	19%	32%	25%	7%	7%	4%	5%	5%	15%
	まあ連携が取れている	62%	26%	38%	38%	45%	44%	44%	44%	46%	46%	47%	35%	35%	28%	29%	29%	46%
	あまり連携が取れていない	17%	31%	31%	31%	17%	25%	25%	25%	17%	9%	18%	34%	34%	39%	38%	38%	28%
	まったく連携が取れていない	1%	16%	6%	6%	6%	8%	8%	8%	10%	7%	6%	12%	12%	13%	12%	12%	6%
	連携の必要がない	1%	8%	6%	6%	8%	7%	7%	7%	3%	2%	1%	7%	7%	9%	10%	10%	2%
	該当する機関がない/知らない	1%	9%	2%	2%	4%	3%	3%	3%	6%	4%	3%	5%	5%	7%	6%	6%	3%
館山	十分に連携が取れている	21%	11%	17%	17%	15%	7%	7%	7%	21%	26%	24%	4%	4%	3%	4%	4%	11%
	まあ連携が取れている	51%	29%	42%	42%	43%	42%	42%	42%	40%	47%	50%	33%	33%	29%	24%	24%	49%
	あまり連携が取れていない	21%	26%	25%	25%	18%	28%	28%	28%	14%	8%	15%	35%	35%	36%	36%	36%	32%
	まったく連携が取れていない	1%	17%	8%	8%	8%	11%	11%	11%	13%	10%	6%	15%	15%	15%	18%	18%	1%
	連携の必要がない	3%	3%	4%	4%	8%	7%	7%	7%	4%	1%	0%	4%	4%	6%	7%	7%	1%
	該当する機関がない/知らない	3%	14%	4%	4%	7%	6%	6%	6%	8%	7%	6%	8%	8%	11%	11%	11%	6%
鴨川	十分に連携が取れている	14%	11%	18%	18%	21%	15%	15%	15%	24%	34%	30%	8%	8%	6%	3%	3%	20%
	まあ連携が取れている	65%	17%	34%	34%	48%	39%	39%	39%	44%	46%	44%	34%	34%	31%	32%	32%	46%
	あまり連携が取れていない	18%	35%	34%	34%	13%	27%	27%	27%	11%	7%	17%	35%	35%	42%	44%	44%	25%
	まったく連携が取れていない	1%	18%	4%	4%	7%	8%	8%	8%	10%	6%	6%	11%	11%	11%	11%	11%	6%
	連携の必要がない	1%	10%	8%	8%	7%	7%	7%	7%	3%	1%	1%	7%	7%	4%	6%	6%	1%
	該当する機関がない/知らない	0%	8%	1%	1%	4%	3%	3%	3%	8%	6%	3%	4%	4%	6%	4%	4%	1%
南房総	十分に連携が取れている	22%	6%	14%	14%	22%	16%	16%	16%	14%	35%	31%	12%	12%	4%	10%	10%	16%
	まあ連携が取れている	69%	37%	43%	43%	39%	49%	49%	49%	55%	43%	45%	35%	35%	27%	33%	33%	51%
	あまり連携が取れていない	8%	31%	31%	31%	22%	22%	22%	22%	24%	10%	20%	35%	35%	37%	33%	33%	24%
	まったく連携が取れていない	0%	10%	4%	4%	4%	4%	4%	4%	6%	8%	4%	10%	10%	16%	6%	6%	4%
	連携の必要がない	0%	12%	6%	6%	10%	8%	8%	8%	0%	4%	0%	6%	6%	12%	14%	14%	2%
	該当する機関がない/知らない	0%	4%	2%	2%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	2%	4%	4%	4%	2%
鋸南町	十分に連携が取れている	6%	0%	0%	0%	25%	19%	19%	19%	6%	38%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6%
	まあ連携が取れている	69%	25%	31%	31%	56%	56%	56%	56%	50%	50%	50%	44%	44%	13%	31%	31%	19%
	あまり連携が取れていない	19%	38%	50%	50%	13%	19%	19%	19%	31%	13%	31%	25%	25%	50%	31%	31%	38%
	まったく連携が取れていない	6%	25%	13%	13%	0%	6%	6%	6%	6%	0%	13%	6%	6%	6%	6%	6%	31%
	連携の必要がない	0%	13%	6%	6%	6%	0%	0%	0%	6%	0%	6%	25%	25%	31%	31%	31%	6%
	該当する機関がない/知らない	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

考察…他機関との連携については、特に医療との連携については歯科との連携が全体に低い傾向となった。在宅サービスの中心である居宅支援事業所及び訪問系サービス（訪問看護、訪問介護、福祉用具）は同行訪問の機会が多いため、連携が高い傾向となった。また、全体の傾向として、入所施設との連携については意識が低く入所してしまうと関わりが薄くなる事が理由であると考えられる。行政との連携については市町ごとに差が生じている。

④他機関専門職種との連携に対する意識調査

		医師	歯科医師	薬剤師	保健師	看護師	歯科衛生士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	栄養士	MSW	ケアマネ	生活相談員	ヘルパー	福祉用具
安房	十分に連携が取れている	13%	8%	11%	3%	11%	3%	7%	5%	2%	4%	12%	33%	18%	22%	20%
	まあ連携が取れている	51%	19%	37%	24%	51%	16%	43%	34%	18%	25%	46%	50%	42%	42%	41%
	あまり連携が取れていない	27%	39%	34%	35%	25%	34%	29%	33%	38%	31%	25%	11%	24%	17%	19%
	まったく連携が取れていない	5%	18%	9%	21%	7%	26%	10%	13%	22%	22%	9%	3%	7%	8%	9%
	連携の必要がない	2%	7%	5%	9%	3%	10%	6%	8%	9%	9%	3%	0%	1%	6%	4%
	該当する機関がない/知らない	2%	9%	5%	9%	3%	11%	5%	8%	11%	10%	6%	3%	7%	4%	7%
館山	十分に連携が取れている	14%	10%	14%	1%	8%	6%	6%	4%	4%	6%	10%	29%	13%	17%	17%
	まあ連携が取れている	47%	17%	33%	21%	44%	10%	47%	39%	24%	13%	46%	46%	39%	38%	36%
	あまり連携が取れていない	29%	43%	33%	38%	31%	40%	29%	31%	33%	36%	25%	15%	25%	22%	19%
	まったく連携が取れていない	4%	14%	8%	19%	7%	19%	8%	11%	21%	21%	11%	4%	11%	10%	13%
	連携の必要がない	3%	4%	3%	7%	3%	6%	3%	4%	6%	6%	1%	0%	1%	6%	4%
	該当する機関がない/知らない	3%	13%	8%	14%	7%	19%	7%	11%	13%	19%	7%	6%	11%	8%	11%
鴨川	十分に連携が取れている	13%	8%	10%	3%	14%	3%	10%	10%	3%	7%	13%	34%	13%	27%	24%
	まあ連携が取れている	49%	17%	44%	31%	58%	21%	42%	32%	14%	38%	45%	54%	49%	42%	41%
	あまり連携が取れていない	30%	37%	32%	34%	17%	30%	27%	32%	42%	31%	24%	7%	23%	14%	15%
	まったく連携が取れていない	6%	24%	6%	17%	7%	31%	10%	10%	20%	11%	6%	3%	4%	6%	7%
	連携の必要がない	1%	7%	6%	6%	1%	8%	7%	8%	8%	6%	3%	0%	1%	7%	3%
	該当する機関がない/知らない	1%	7%	3%	10%	3%	7%	4%	7%	13%	7%	10%	3%	10%	4%	10%
南房総	十分に連携が取れている	16%	6%	12%	4%	12%	0%	4%	0%	0%	0%	14%	33%	31%	22%	20%
	まあ連携が取れている	61%	31%	35%	16%	51%	22%	37%	33%	18%	27%	47%	51%	39%	45%	43%
	あまり連携が取れていない	16%	33%	33%	31%	27%	33%	33%	39%	45%	31%	27%	12%	27%	16%	27%
	まったく連携が取れていない	2%	12%	10%	27%	4%	20%	12%	10%	16%	24%	8%	2%	4%	10%	6%
	連携の必要がない	0%	10%	6%	18%	6%	18%	8%	12%	12%	16%	4%	2%	0%	6%	4%
	該当する機関がない/知らない	4%	8%	4%	4%	0%	6%	6%	6%	8%	2%	0%	0%	0%	0%	0%
鋸南町	十分に連携が取れている	0%	0%	0%	6%	6%	0%	6%	0%	0%	0%	6%	44%	25%	25%	13%
	まあ連携が取れている	44%	6%	25%	25%	50%	6%	50%	19%	13%	13%	50%	56%	38%	56%	63%
	あまり連携が取れていない	38%	50%	50%	38%	25%	31%	25%	31%	13%	6%	19%	0%	19%	6%	6%
	まったく連携が取れていない	13%	31%	19%	25%	13%	50%	13%	44%	56%	63%	19%	0%	13%	6%	13%
	連携の必要がない	6%	13%	6%	6%	6%	13%	6%	6%	19%	19%	6%	0%	6%	6%	6%
	該当する機関がない/知らない	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

考察…他機関との専門職との連携については、前項他機関との連携において低い傾向にある歯科医師及び歯科衛生士及び、安房地区にて従事者数の少ない言語聴覚士が著しく低い傾向となった。また、保健師についても低い傾向となった。福祉の専門職の中ではケアマネジャーを中心として比較的連携が図れてる結果となった。

⑤情報の収集に対する意識調査

		介護保険	研修会	災害	市町村	近隣市	多職種連携
安房	必要な情報はすべて得られている	7%	5%	3%	4%	2%	2%
	必要な情報はほぼ得られてる	36%	36%	24%	21%	11%	20%
	必要な情報は得られてる	38%	46%	42%	40%	34%	42%
	必要な情報が得られていない	17%	12%	29%	33%	46%	32%
	必要な情報が全く得られていない	0%	0%	2%	1%	7%	3%
	情報を得る必要がない	1%	0%	0%	0%	0%	0%
館山	必要な情報はすべて得られている	8%	4%	4%	6%	3%	3%
	必要な情報はほぼ得られてる	26%	31%	16%	11%	8%	13%
	必要な情報は得られてる	47%	51%	39%	39%	28%	39%
	必要な情報が得られていない	17%	11%	37%	39%	48%	39%
	必要な情報が全く得られていない	0%	1%	4%	3%	11%	6%
	情報を得る必要がない	1%	1%	0%	1%	1%	1%
鴨川	必要な情報はすべて得られている	7%	8%	3%	4%	1%	1%
	必要な情報はほぼ得られてる	46%	45%	34%	35%	15%	32%
	必要な情報は得られてる	31%	39%	45%	39%	41%	42%
	必要な情報が得られていない	13%	7%	18%	21%	37%	23%
	必要な情報が全く得られていない	1%	0%	0%	0%	6%	1%
	情報を得る必要がない	1%	0%	0%	0%	0%	0%
南房総	必要な情報はすべて得られている	6%	2%	2%	2%	2%	2%
	必要な情報はほぼ得られてる	35%	37%	24%	16%	6%	14%
	必要な情報は得られてる	39%	41%	45%	49%	39%	47%
	必要な情報が得られていない	20%	20%	27%	33%	51%	37%
	必要な情報が全く得られていない	0%	0%	2%	0%	2%	0%
	情報を得る必要がない	0%	0%	0%	0%	0%	0%
鋸南町	必要な情報はすべて得られている	6%	6%	0%	6%	0%	0%
	必要な情報はほぼ得られてる	38%	19%	19%	19%	19%	19%
	必要な情報は得られてる	31%	63%	38%	19%	13%	44%
	必要な情報が得られていない	25%	13%	38%	50%	56%	31%
	必要な情報が全く得られていない	0%	0%	6%	6%	13%	6%
	情報を得る必要がない	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	該当する機関がない/知らない	100%	100%	100%	100%	100%	100%

各協議会など		県や市町村		その他	
資料郵送	120	資料郵送	126	資料郵送	47
FAX	71	FAX	92	FAX	47
研修会	128	研修会	106	研修会	37
ネット	111	ネット	100	ネット	48
送付されない	4	送付されない	7	送付されない	13
	434		431		192

考察…情報収集については、介護保険制度や研修会等に対する情報への関心は高いため情報が得られている。しかしながら、市町や近隣市の取組みの情報が伝わらず、広域的な連携を行うために支障が生じてくる可能性が高い。その要因として、市町の体制や情報伝達方法により差が生じているものと考えられる。  
情報の収集方法は郵送及び研修会等において資料を入所。また、インターネット等も活用されている。

⑥情報共有システムの関心度及び活用方法

安房	とても興味があり利用してみたい	13%
	興味があり利用してみたい	56%
	興味はあるが利用したくない	5%
	利用したくない	0%
	分からない	25%
館山	とても興味があり利用してみたい	10%
	興味があり利用してみたい	51%
	興味はあるが利用したくない	7%
	利用したくない	0%
	分からない	32%
鴨川	とても興味があり利用してみたい	13%
	興味があり利用してみたい	65%
	興味はあるが利用したくない	6%
	利用したくない	0%
	分からない	17%
南房総	とても興味があり利用してみたい	16%
	興味があり利用してみたい	49%
	興味はあるが利用したくない	0%
	利用したくない	0%
	分からない	35%
鋸南	とても興味があり利用してみたい	25%
	興味があり利用してみたい	63%
	興味はあるが利用したくない	6%
	利用したくない	0%
	分からない	6%

		資料共有	研修会	災害	緊急連絡	市町村	近隣市	多職種共有
安房	十分に活用できる	32%	34%	27%	21%	23%	19%	20%
	まあ活用できる	34%	34%	34%	40%	40%	38%	37%
	活用できる	32%	30%	34%	36%	35%	39%	36%
	あまり活用できない	1%	1%	5%	4%	2%	3%	8%
	わからない	1%	1%	0%	0%	0%	1%	0%
館山	十分に活用できる	32%	32%	32%	23%	27%	23%	23%
	まあ活用できる	43%	43%	36%	43%	41%	36%	39%
	活用できる	20%	23%	27%	30%	27%	36%	34%
	あまり活用できない	5%	2%	5%	5%	5%	5%	5%
	わからない	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
鴨川	十分に活用できる	30%	32%	20%	14%	16%	16%	14%
	まあ活用できる	32%	32%	36%	41%	48%	44%	39%
	活用できる	36%	34%	41%	43%	34%	36%	36%
	あまり活用できない	0%	0%	4%	2%	2%	4%	11%
	わからない	2%	2%	0%	0%	0%	0%	0%
南房総	十分に活用できる	28%	34%	28%	22%	22%	13%	19%
	まあ活用できる	34%	38%	34%	38%	34%	38%	34%
	活用できる	38%	28%	31%	31%	44%	47%	38%
	あまり活用できない	0%	0%	6%	9%	0%	3%	9%
	わからない	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
鋸南町	十分に活用できる	50%	50%	36%	36%	36%	36%	36%
	まあ活用できる	14%	7%	21%	29%	21%	21%	29%
	活用できる	36%	43%	29%	36%	43%	43%	36%
	あまり活用できない	0%	0%	14%	0%	0%	0%	0%
	わからない	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

考察…情報共有システムに対して興味を持っているが、アンケート実施時点においてシステム構築できていないため、分からないと回答した事業所が多かったと想定される。鴨川市と鋸南町は関心度が高く、分からないと回答した事業所は少ない。システムの活用方法では提示した項目では概ね活用できると考えられ、災害などの緊急時やおける緊急連絡や、近隣市や多職種との資料共有など、通常の業務の中の範囲では情報を得る事ができない項目においても活用性が高いと考えられている。

## ⑦情報共有システムに対する自由意見

- ・必要なシステムだと思います。
  - ・災害時の情報共有が現在は個別での確認、対応が主体となっています。ネットワーク構築により効率的な情報取得対応に結び付けられると助かります。
  - ・今までこのようなシステムが無かったので、自分で調べるしかなかった。情報が共有できるシステムの構築はみんな助かるのでありがたく存じます。
  - ・介護専門職と医師の関わりが重要であると感じます。特に連携の中心となるべきケアマネジャーと医師の連携が十分にとれているとは言えない状況ではないかと思えます。まずはお互いの立場や情報、意見を共有する場を持つこと。そこから規範的統合へとつなげていくことが重要ではないかと思えます。 ・早目のネットワーク創り実現を期待しています。
  - ・最近研修会等の配信を障害・児童分野にすることが増えているので、高齢者以外の分野を対象を広げていただけるとありがたいです。
  - ・多くの関係機関の参加となるように周知し活用出来たら良いと思えます。
  - ・社会情勢を見ても今後に向け、必要なシステムであり方向性として大賛成だが、十分な説明と準備と期間が必要だと思います。
  - ・簡単に利用しやすいものがよい。 ・見やすいプラットフォームであれば利用したい。 ・とても良いシステムだと思います。よろしく願いいたします。
  - ・情報を共有出来ることが良い反面、必要な情報とそうでない情報を取捨選択できると良いと思えます。 ・使い易くわかりやすいものにしてほしい。 同 2 件 ・地域資源の情報共有等ができればと思います。
  - ・高齢の職員でも簡単に使えるように、シンプルな作りしてほしい。同 3 件 ・誰もが負担なく、便利に活用できるものになると、地域の福祉が向上すると思えます。よろしくおねがいします。
- ・個人情報はどうに保護されるのか？また、特定の利用者に対する情報の共有などにも使えるのか？ ・情報流出やイタズラ等セキュリティ面が心配。
- ・介護のニーズがないので活用する機会がない。 ・配信の頻度や量が多いと利用が大変になりそう。 ・いろいろなところから同じ情報が送られてこないようにしてほしい。
- ・情報の量を適正にして運用してほしい。 ・現在でも介護保険制度の改正の情報は自分で調べないと保険者からも全く情報が来ていない状況であるのに、このシステムが効率的に活用出来るかはかなり疑問。

## ⑧情報共有システム利用したくない理由及び自由意見

利用してないので分からない	12
パソコンが苦手	13
日々の業務で精一杯	15
情報漏えいが心配	7
電話やFAXで十分	2

### 自由意見

- ・これだけの説明では殆ど理解ができず、誰がどんなときにどう配信するのか？
- ・いろいろなネットワークがあり、規模によっては活用できないと思われるから。
- ・登録できるアドレスがパソコンのみだと災害時に利用できない可能性が高いから

考察…システムを利用したくない理由として、アンケート実施時点においてシステム構築されていないかったこと及び、介護サービスへの従事者が日々の業務において手一杯の状況であるため、新たな事業については負担となってしまう可能性が高い。システムの目的として、情報共有における資料等の提示により業務の省力化に向けても取組む必要があると考えられる。

## 5.まとめ

安房地域において全ての事業所を対象としたアンケート等は実施されたことはなく、安房地域全体の連携に対する意識調査をはじめ、情報共有システムの周知もある程度実施できたものと思われる。ただ、市町村により回答率の差が大きく広域的な事業実施には周知が課題であり、多くの事業所や従事者に利用してもらうための工夫が必要である。あと、広域的に多くの情報を掲載していくためには、現時点での情報を集約するとともに、行政や団体などと協働しながらの更新作業について取組むことが必要と思われる。また、アンケート実施期間の後半では、台風による甚大な災害が発生し、介護サービス従事者は対象者の安否確認やサービス提供に努めていた。介護サービス従事者対象者を支援する中で必要とされた情報や情報の収集方法等について検討し、平常時だけでなく災害時における情報共有の仕組みの検討が必要と思われる。大災害時における情報共有の課題についても本研究にて取組んでいくこととする。